

3号様式の1

排出量削減計画書

		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 変更				
(宛先) 京都府知事		令和5年11月13日				
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都府久世郡久御山町佐山双栗3番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日新工芸株式会社 代表取締役 西脇 眞次 電話 0774-43-6711				
主たる業種	装身具・装飾品製造業(貴金属・宝石製を除く)	細分類番号	3 2 2 1			
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 産業部門 <input type="checkbox"/> 業務部門 <input type="checkbox"/> 運輸部門 主たる業種を元に右記部門から該当するものを選択					
計画期間	令和5年4月 ~ 令和8年3月					
基本方針	日々の事業活動の中で省エネを意識し、従業員一丸となって温室効果ガス排出の削減に努める。					
計画を推進するための体制	管理部長を推進責任者におき、目標計画の進捗管理を実施する。					
削減率						
温室効果ガスの排出の実績及び削減の目標	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (2~4)年度	第1年度 (5)年度	第2年度 (6)年度	第3年度 (7)年度	3年平均増減率 (基準年度比)
	事業活動に伴う排出の量	26.2 トン	25.0 トン	24.9 トン	24.8 トン	-5.0 パーセント
	グリーン電力証書や非化石証書等の購入によるもの削減量	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	
	評価の対象となる排出の量	26.1 トン	25.0 トン	24.9 トン	24.8 トン	-4.6 パーセント
	年度ごとの増減率(基準年度比)		-4.2 %	-4.6 %	-5.0 %	
	目標の根拠	事業における省エネ活動を推進するほか、LED照明等の省エネ効果の高い設備への切り替え等を検討し、目標の達成を目指す。				
具体的な取組及び措置の内容	1年目	工場設備の稼働状況を見直し、温室効果ガス削減に取り組む。				
	2年目	温室効果ガス削減の一環として、省エネ効果の高い設備への切り替えを検討する。				
	3年目	温室効果ガス削減の一環として、省エネ効果の高い設備への切り替えを検討する。				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	久御山町が宣言した「歩くまち」。推進事業の一つである「歩く拠点」の認証を取得しSDGs(3・11・13・17)に取り組んでいる。					
特記事項						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

注 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。

注 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量の平均をいいます。